

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 3月

令和6年3月1日の推計人口 1,260,748人
世帯数 557,177世帯
参考：R2.10.1 現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和6年3月1日現在の推計人口は、1,260,748人で、前月(1,262,239)に比べ1,491人の減少となった。

市部では、大村市(250)の1市で増加し、長崎市(537)、佐世保市(493)、対馬市(67)、南島原市(60)、島原市(53)、雲仙市(51)、壱岐市(46)、諫早市(45)、西海市(38)、平戸市(23)、五島市(23)、松浦市(22)の12市で減少した。

郡部では、増加した町はなく、時津町(122)、長与町(60)、新上五島町(38)、東彼杵町(27)、佐々町(13)、川棚町(12)、小値賀町(11)の7町で減少した。波佐見町は増減がなかった。

自然動態は、出生数567人、死亡数1,710人で1,143人の減少、社会動態は、転入者数2,829人(県内転入を含む)、転出者3,177人(県内転出を含む)で、348人の減少となった。

2 世帯数

令和6年3月1日現在の世帯数は、557,177世帯で前月(557,797)に比べ620世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計 = R2 国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 1月
1人当たり現金給与総額 256,017円
対前月比 48.9%減少
対前年同月比 6.3%増加

1 賃金

1月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は256,017円で、前月に比べ48.9%減少し、前年同月に比べ6.3%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は250,382円で、前月に比べ2.4%増加し、前年同月に比べ4.4%増加した。

特別給与額は5,635円で、前年同月に比べ、4,598円増加した。

2 労働時間

1月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は140.2時間で、前月に比べ4.0%減少し、前年同月に比べ1.1%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は129.4時間で前月に比べ4.0%減少し、前年同月と比べ、1.3%増加した。

所定外労働時間数は10.8時間で、前月に比べ2.7%減少、前年同月に比べ1.9%減少した。

3 雇用

1月の常用労働者数は220,684人で、前月に比べ、3.7%増加し、前年同月に比べ0.8%増加した。

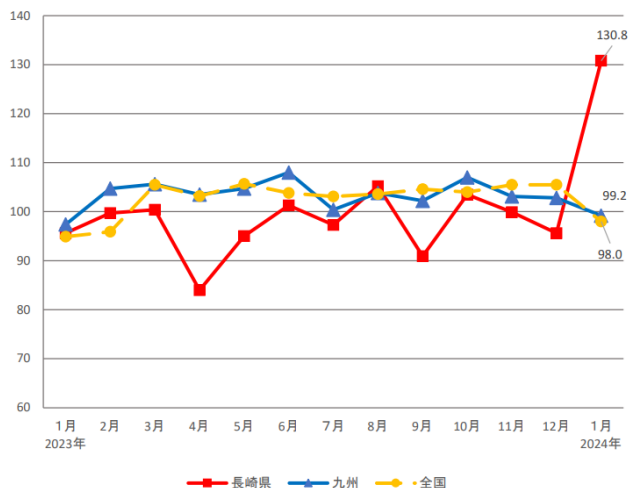
【鉦工業生産指数】…………… 1月

令和6年1月の鉦工業生産指数

(2020年=100)

区分	季節調整指数	前月比 (%)	原指数	前年同月比 (%)
長崎県	130.8	36.7	114.1	37.5
九州	99.2	3.5	95.1	1.8
全国	98.0	6.7	92.4	1.5

鉦工業生産指数の推移【季節調整指数】



2024年1月の鉦工業生産指数は、季節調整指数が130.8で対前月比は36.7%の上昇、原指数は114.1で対前年同月比は37.5%の上昇となった。

業種別にみると、鉦業、電子部品・デバイス工業、電気機械工業など11業種が上昇し、化学工業、金属製品工業の2業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
鉦業	111.3	-
電子部品・デバイス工業	87.6	電子回路実装基板
電気機械工業	83.8	交流発電機

主な低下業種

業種	前月比 (%)	低下に寄与した主な品目
化学工業	46.9	-
金属製品工業	39.9	-

上昇業種、低下業種は全業種13業種から選定している。寄与した品目については、主要業種7業種のみ掲載している。

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 2月

総合指数(R2=100)

107.0

対前月比

0.4%上昇

対前年同月比

3.4%上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、107.0で前月比0.4%の上昇であった。

主な上昇要因は「教養娯楽」が1.5%の上昇、「住居」が0.5%の上昇であり、全ての項目が前月より上昇または、前月と同水準であった。

前年同月比は、10月は3.2%上昇、11月は2.7%の上昇、12月は2.7%の上昇、1月は2.3%の上昇と推移した後、2月は3.4%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は106.6で前月比0.5%の上昇、前年同月比は3.4%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

教養娯楽	1.5 %
被服及び履物	1.1 %
家具・家事用品	0.8 %
保健医療	0.6 %
住居	0.5 %
諸雑費	0.3 %
光熱・水道	0.2 %
食料	0.1 %
交通・通信	0.1 %

同水準の費目

教育	±0.0 %
----	--------

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…………… 2月

消費支出(一世帯当たり)

353,800円

前月比

36,728円増加(11.6%)

令和6年2月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は353,800円で、前月比11.6%の増加、前年同月比は24.8%の増加であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は79.6%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。